

しまねの薬用植物と酒

古代出雲起源から考える食農と健康の未来

Medicinal Plants and Sake in Shimane



日時 | **11/13 (水) 15:00~16:50**

会場 | **生物資源科学部1号館101講義室**

「古事記」中のガマの穂を用いて傷を癒した白兔神話や、「出雲国風土記」(733)中の数十種の薬草記載から古代出雲は医薬発祥の地ともいわれています。「雲州人参」は江戸時代からの松江の重要な産業植物です。また、旧暦10月(11月1日~30日)の出雲地方は神在月です。全国から集められた八百万の神々に捧げられる日本酒の発祥も出雲の地であるといわれています。

—薬と酒— 古代出雲を起源とする一見相容れないこれら2つのアイテムですが、地域の産業や観光の振興、食農の伝統、そして人々の健康長寿に深く関わっていると考えます。そこで、第1部では出雲地域と密接な関係のある薬用植物の生産から加工品の今後について考えるセミナー、第2部では当地の酒と伝統食とのマリアージュについて学ぶ演習会を開催します。島根大学における専門的な学びや研究の魅力についてもご紹介いたします。

◆ セミナー ◆ (第1部)

雲州ニンジン生産を支えた大根島の黒ボク土
および簡易被覆栽培の今後の展開

松本 真悟
島根大学生物資源科学部

薬用植物における害虫防除~その実際と問題点~

泉 洋平
島根大学生物資源科学部

島根県産食資源由来乳酸菌を用いた
雲州人参の機能性強化の試み

地坂 光生
島根大学生物資源科学部

農業×観光×販売
農業歴史継承と今後の農業ビジネス

渡部 卓也
由志園アグリファーム(株)

出口戦略から考える薬用植物
玉造温泉 薬草・湯治プロジェクト

片岡 諒
島根大学医学部発のベンチャー
合同会社薬雲

<薬草加工品の紹介とお試し>

主催/島根大学 生物資源科学部
共催/しまね産学官人材育成コンソーシアム

第1部のセミナー聴講のみ
の場合は参加登録は不要です

しまねの薬用植物と酒

古代出雲起源から考える食農と健康の未来

Medicinal Plants and Sake in Shimane

日時 | **11/13 (水) 17:00~18:30**

会場 | **生物資源科学部1号館203会議室**

Interchange and communication by tasting Sake (Japanese Rice Wine, etc).
Learning the sake breweries and local sake tastes in Shimane.
Only those over the age of 20 are permitted to participate.

<Charge for appetizers of Sake>
Students/Graduate students — ¥1,000 per person
Others — ¥2,000 per person



Tasting Lecture ■ 演習会 ■ (第2部)

日本酒と料理の楽しみ方

石原 美和
SSI認定きき酒師

地域の醸造業
—参加酒造会社の紹介—

島根県酒造組合

Panel Discussion ■ パネルディスカッション ■

17:40~

島根の酒文化と交流

演習料
(会費)
学生/大学院生
1,000円
その他の方
2,000円

※試飲用日本酒に合う肴代として

Registration
参加事前登録をお願いします



主催/島根大学 生物資源科学部(島大グローバル月間)
共催/鳥取大学大学院連合農学研究科・横断的研究プロジェクト
しまね産学官人材育成コンソーシアム
協賛/島根県酒造組合



鳥取大学大学院連合農学研究科・横断的研究プロジェクト
「中国地方の酒と学ぶ」酒育研究会
第4回島根集会